

令和元年度 議会による行政評価 施策評価の予算措置の状況

<資料一覧>

	ページ
資料 1-1 コミュニティ活動の支援	3～6
資料 1-2 市民参加・参画の推進	7～12
資料 1-3 文化財の保存と活用、文化的景観の保護推進	13～17
資料 1-4 歴史・文化の保存継承と情報発信	19～22

令和元年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-1

- 市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
- 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
- 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
- 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

< 施策評価 >

(千円)

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
コミュニティ活動 の支援	自治振興課	<p>・活力のあるコミュニティの形成をめざし、町会を単位とした活動及び交流が活発に行われるように、市民の自主的なコミュニティ活動を積極的に支援します。</p> <p>(現況と課題)</p> <p>・町会連合会は、定例の会合を開くなど連携がとれており、行政への協力等の取り組みも活発ですが、より一層の市との協働が求められています。</p> <p>・防犯、防災、福祉、環境美化や青少年の健全育成等の様々な分野で地域コミュニティの活動の重要性が高まっているなか、町会への加入率が下がっており、加入率の向上が課題です。</p> <p>・コミュニティ活動の拠点となる町会館の中には、老朽化したものが多く、また、一部未整備な町会もあり、今後の新築、増改築が課題です。</p>	B	現状維持	<p>1. 昨今の町会加入率低下の大きな要因として考えられるのは、複雑多岐にわたる役の業務を重荷と感じているからである(ゴミ袋の配分など)。このため、町会役員を有償ボランティアと位置づけ、町会振興事業の予算を見直すことで、少額の報酬制の導入を検討されたい。</p> <p>2. 災害発生時での「共助」の観点から、日頃からのコミュニティづくりの必要性のさらなる周知に努めること。</p> <p>3. マンションなどは個々に理事会があるため、町会への関心が薄い。マンションなど、集合住宅を建設する際には各業者から新規入居者へ町会加入に向けた説明及び、促進の強化を図ること。</p> <p>4. 各町会単位で幅広いリーダーが将来のコミュニティ活動のためには必要と感じており、その育成、支援策を検討いただきたい。</p>	<p>この施策を構成する2事業のR2当初予算額とR1当初予算額を比べると、6,308千円(18.9%)の増加となっている。</p> <p>これは、施策を構成する町会振興事業で6,308千円の増、町会振興補助事業で増減なしとなったためである。</p> <p>※増減理由は各事務事業に記載。</p>	39,769	33,461	6,308	41,962

<本施策を構成する事務事業評価>

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
1	町会振興事業	自治振興課	町会連合会の事務局として総会や毎月の定例幹事会、その他各種行事を開催する。また、自治振興活動を行っていると思われる団体を支援するため、報償金を給付している。町会・自治会加入促進事業補助金(町会連合会による活動促進袋の製作・配付)。職員と町会・自治会役員による加入勧奨連携協力。	B	—	<p>○主に町会連合会の活動支援になっていますし、各町会の助成についても連合会が中心になっていますので、新たな自治体・管理団体の加入要件の緩和や、役員体制の改革(輪番制の見直しや役員の見直し)も検討出来れば進めていただきたいと思ひます。</p> <p>街灯のLED化、防犯体制の拡充など促進のために活性化していただきたいと思ひます。</p> <p>町会加入促進は、大きな課題ですがいろいろな方法の創出で、各町会に合った方法で加入促進を進められるようお願いいたします。</p> <p>町会管理の資産(借地上の旧会館など)等の処分についても、助成制度が活用出来るようにしていただきたいと思ひます。</p> <p>○今後の大規模災害などに備えて、町会の果たす役割は重要である。</p> <p>町会連合会等の活動を多くの市民に知ってもらえるように考えるべきだと思ひます。</p> <p>又町会未加入であっても町会活動に参加してもらえるような工夫がないものか考えるところです。</p> <p>そんな中で、町会活動を知ってもらえる機会があれば良いと思ひます。</p> <p>市民協働部においても、各町会への協力体制等は評価したい。</p> <p>○町会・自治会加入促進事業補助金は、町会加入世帯ではなく、各町会・自治会に支給する方法を提案します。</p> <p>町独自の住居環境、祭り、文化やニーズに合った使い勝手のよいものとして、また自主防災備品やAED設置等の購入費等にも使用できるものとして、各町会に支給する形はいかがでしょうか、ぜひご検討願</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、6,308千円(19.8%)の増となっている。</p> <p>これは、町会・自治会加入促進事業補助で4,501千円の増、町会活動事故補償の保険料で1,001千円皆増、掲示板設置等補助で800千円の増となったためである。</p>	38,169	31,861	6,308	40,362

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
						<p>いたい。</p> <p>○町会連合会に加盟していない、地域住宅地やマンション、集合住宅(長屋、ハイツ等)の自治会、町会に対しても、振興事業の対象とされたい。</p> <p>○町会加入促進事業として始まった活動促進袋の配布が始まり、定着した感はある。</p> <p>当初は色で加入世帯と未加入世帯が一目で判別できたが、今は同色となり、未加入世帯からの苦情も無くなった。</p> <p>促進袋の無料配布で加入促進の効果は数字上では現れなかったが、現状の町会加入者世帯への住民サービスとして継続せざるを得ないと感じている。</p> <p>今後も町会への事業協力をさらに求めていくのであれば、報奨金、補助金等の増額も必要ではないかと思う。</p> <p>○この事業での予算で効果が見込めないのであれば、評価シートに書かれているとおり、補助事業との統合には賛成である。町会加入が見込めない上では、町会員や役員の無償での労力負担にも限界があるので、補助金額は減らすことなく、町会運営が行いやすくなるよう予算配分にも検討していただき、事務も負担のないよう効率化されたら良いと思う。</p> <p>○加入勧奨連携協力は引き続きして頂きたい。</p> <p>○各町会の役員会や班長会議等に市職員が出席し、現状把握に努めると同時に町会と行政とのさらなる関係強化を図るという方法はいかがでしょうか。</p> <p>○町会加入率を向上させることは必要ですが、できる限りの努力は市も町会もしている状況だと思います。</p> <p>今後は、単身世帯やマンションなど狙いを定めた解決策の構築が必要と考えます。</p>					

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
2	町会振興補助事業	自治振興課	町会連合会の活動支援のための補助金を交付。	B	—	<p>○重ねてではありませんが新たな自治体・管理団体の加入要件の緩和や、役員体制の改革(輪番制の見直しや役員の見直し)も検討出来れば進めていただきたいと思います。</p> <p>地域コミュニティ活動の更なる前進をお願いします</p> <p>高齢化が進んでいますので、若手の加入促進対策などの検討・次期メンバー育成などで必要な事の促進をお願いします。</p> <p>○町会連合会にとって、補助金交付は必要である。</p> <p>町会活動推進袋はこの数年で、町会加入者には定着している。</p> <p>この事業は今後も継続するべきである。</p> <p>○補助事業は、町会連合会を通してでなく町会単位に対する支援を行うほうがよい、各町会により要望は違うはずだから。</p> <p>○82団体の町会組織を繋ぐ役割の町会連合会組織は町会活動以上に活動量も多く、会合等頻繁に招集がかかると仄聞する。</p> <p>様々な面での協力体制を維持するため必要事業と認識している。</p> <p>○町会への補助金は必要である。</p> <p>振興事業との統合で、事務の効率化をするのが良いと考える。</p> <p>○加入促進補助金は継続する事。</p> <p>○防犯灯設置の電柱などに、「この防犯灯は〇〇町会が設置しています。」といった案内をつけるといった支援など、上手い広報手段による支援が必要と考えます。</p>	R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、増減はありません。	1,600	1,600	0	1,600
合 計								39,769	33,461	6,308	41,962

令和元年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-2

- 市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

< 施策評価 >

(千円)

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
市民参加・参画 の推進	自治振興課 ・ 政策推進課	<p>・市民ニーズを的確に把握し、そのニーズを市政に反映させ、様々な立場の市民が市政へ参画できる環境を整えることにより、市民と行政による協働のまちづくりをめざします。</p> <p>(現況と課題)</p> <p>・市民ニーズを的確に把握し、陳情、要望のほか市政モニター制度、市民提案箱など多様な手段で市民の声を市政に反映しています。</p> <p>・市政の基本的な政策等の立案に際しては、各種審議会への市民委員の登用やパブリックコメント制度により、政策形成段階への市民参画を推進しています。</p> <p>・協働のまちづくりを進めるためには、市民の積極的な参加を促進し、市民の創意と工夫をまちづくりにいかすことが大切です。</p> <p>・近年、人々のボランティア活動への意識や関心が高まっており、その活動には、福祉分野をはじめ、まちづくり、国際交流、環境など多岐にわたっています。</p>	C	現状維持	<p>1. タウンミーティングの幅広い年齢層へのさらなる参加を促進すること。</p> <p>2. スマートフォンの普及により、SNS等を今まで以上に活用し、市民の皆様への情報発信を強化すること。</p> <p>3. 市民の皆様へ各種ボランティア活動やNPO活動へのさらなる参加を促すことで、行政との連携の強化を図ること。</p>	<p>この施策を構成する2事業のR2当初予算額とR1当初予算額を比べると、19,629千円(76.9%)の増加となっている。</p> <p>これは、施策を構成する広報公聴事業で2,978千円の減、まちづくり推進事業で22,540千円の増、成長戦略事業で67千円の増となったためである。</p> <p>※増減理由は各事務事業に記載。</p>	45,141	25,512	19,629	90,861

		<p>・平成27年1月、大阪府からNPO法人設立認定権限が本市に移譲されました。また、市民公益活動団体登録制度により、NPO法人等の団体情報を広報やホームページ上で、発信しています。</p>								
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--

<本施策を構成する事務事業評価>

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
1	広報公聴事業	自治振興課	<p>広報公聴事業として以下の事務を行っている。</p> <p>①泉佐野市政モニターアンケートの実施</p> <p>②市政記者クラブ運営(第1記者クラブ:NHK、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、共同通信 第2記者クラブ:ニュースせんなん等)</p> <p>③陳情・要望処理</p> <p>④市民提案箱(市役所本庁舎1階ロビーに設置)処理</p> <p>⑤市ホームページの運営</p> <p>⑥タウンミーティングの開催</p>	B	-	<p>〇SNS活用など、幅広い広報が出来るよう、よろしくお願いいたします。VRやYouTube活用も取り入れられるなら、よろしくお願いいたします。アニメーションなども取り入れていただくと、いいと思います。(湊にアニメーション制作事務所を運営されている方がいますので、相談いただくとコンサルタントなどを入れずに低価格で考えたとお聞きしています。)</p> <p>〇本市の広報広聴事業は充実していると思う。</p> <p>「広報いずみさの」は大変読みやすい。又、「さのテレ」は多くの市民の方々が視聴されている。</p> <p>泉佐野市の事が良くわかる。</p> <p>〇市ホームページとは別にSNS(Facebook、Twitter等)での情報発信を提案します。</p> <p>運用にあたっては、他の自治体の先進事例も参考しながら、取り組みを行う必要があると思われます。</p> <p>〇タウンミーティングの参加目標値が700人地域が14カ所だと50人の収容となる。今までの参加者の平均20~30人と聞いているが町会役員のみ参加連絡でなく広い地域の市民に知らせ少なくとも50人平均に増やすこと。</p> <p>〇昨年の台風被害に関する市民への直接的な広報は防災無線と共にホームページが重要な役割を果たした。</p> <p>30年度はふるさと納税の窓口として最も活用された年であり、年末などは全く繋がらないほどアクセスが集中したこともあった。</p> <p>他方、申請書類もわざわざ市役所まで取りに来ることなく、ダウンロードして書き込</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、2,978千円(33.2%)の減となっている。</p> <p>これは、市ホームページの容量増に伴いシステム使用料で283千円の増となった一方、市勢要覧作成業務委託で3,300千円皆減となったためである。</p>	5,998	8,976	△ 2,978	10,569

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備 考 (H30年度 決算額)
						<p>めるなど非常に便利になったと思う。 今後はインバウンドを対象とした多言語のページや、観光などの情報発信をさらに充実していただきたい。 ○スマホ時代において、今やホームページは市の情報を知りたい時にすぐ見られるので、活用されていると思う。 時間をかけて見る資料のような情報が多く、今知りたい情報がどこにあるのかわかりづらかったり、載っていない、などの意見を聞くことが過去にあったので、滞ることなく情報の更新をされたい。 ○陳情、要望、受付件数が少し少ないと思う。 ○市民の方々からの多岐にわたる意見に迅速かつ適正に対応してください。 ○広報はまだまだ「上手さ」が足りないと思います。 行政サービスを市民にしっかりと知らせることができるようになり、市民生活がより豊かなものになるよう、広報力を高めたいと思います。</p>					

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
2	まちづくり推進事業	政策推進課	まちづくり推進事業として以下の事務を行っている。 ①部長会議の運営 ②その他企画調整事務(行政評価運用、国府要望、施政方針、地方分権、広域連携、職員提案、各部署間の総合調整等)	B	—	<p>○30歳の成人式などは、参加者が減少していますので新たな方法などの対策を望みます。</p> <p>新たなイベントの創出などに期待します。</p> <p>○積極的に取り組んでいると思う。</p> <p>今後は広域連携も積極的に進めていく事を希望します。</p> <p>○官民連携した事業展開、情報収集に努める必要がある。</p> <p>○市としてのまちづくりの方向が見えない地元商店街(シャッター通り)の活性化に思い切って取り組んで頂きたい。</p> <p>○市の行政評価や新規企画立案調整の事業とあるが、来年から議会においてもペーパーレスとしてタブレット導入が予定され、参考資料として議会にも公開出来るものがあれば積極的に開示をお願いしたい。</p> <p>○部長会議の回数が少ないと思うが。</p> <p>○企画調整事務の強化を図ってください。</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、22,540千円(141.7%)の増となっている。</p> <p>これは、おもに総合計画策定業務委託で4,400千円皆減、ヘリポート運営補助で2,000千円の減となった一方、弁護士費用で15,000千円皆増、プロモーションビデオ作成業務委託で10,000千円皆増、恋人の聖地回遊促進事業委託で3,700千円皆増となったためである。</p>	38,445	15,905	22,540	40,156

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
3	成長戦略事業	政策推進課	成長戦略事業として、りんくうタウンの発展及び税外収入の確保等を推進する	B	-	<p>○アイスアリーナなど特色有る活動を推進していただきたいと思います。新たなイベントの創出などに期待します。</p> <p>○近年のりんくうタウンの発展は素晴らしい。</p> <p>今後アイススケートリンクの整備等観光客を集客できることを望む。</p> <p>○インバウンドによる経済効果をりんくうタウンへ誘引するには、官民連携した事業展開、情報収集に努める必要がある。</p> <p>○りんくうタウン近辺のみの戦略となっている。インバウンドの増加を加味するならば、南海泉佐野駅西側(シャッター通り商店街含む)をもっと整備し、地元にお金が落ちるようにすべし。</p> <p>○関空アイスアリーナの持続可能な経営戦略を大いに期待する。</p> <p>○すぐに効果が出ない事業だとあるが、経営として考えたら、歳入確保が急務な課題だと思う。多額の費用がかかっているの、早急に効果を発揮できることを期待する。</p> <p>○アイススケートリンクを核とした若い人の賑わう街づくりをする事を進めてほしい。</p> <p>○アイスアリーナ事業の成功により、りんくうタウンのさらなる活性化が望めると考えます。市民の皆様が利用しやすくすることで親しまれる施設に発展できるように取り組んでください。</p> <p>○今が最も成長の可能性がある時期だと思います。この機を逃さず、市の成長を民間活力を活かしながら牽引してほしいと思います。</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、67千円(10.6%)の増となっている。</p> <p>これは、成果連動型補助金の適用事業募集の審査委員謝金で87千円皆増となったためである。</p>	698	631	67	40,136
合 計								45,141	25,512	19,629	90,861

令和元年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-3

市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

< 施策評価 >

(千円)

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
①文化財の保存と活用	文化財保護課	・史跡日根荘遺跡を含む指定文化財、埋蔵文化財等は、地域の歴史と文化を物語る貴重な財産であり、計画、方針の策定や様々な方策や連携を行い、豊かな地域づくり、ひとづくりに役立てる方策を進め、普及啓発をはじめ将来に向けて適切な保存と活用をめざします。 (現況と課題) ・史跡日根荘遺跡の適切な保存が可能となるように調整、指導、調査を行っています。 ・史跡指定地を含む重要文化的景観の選定及び保存に向けての計画づくりが求められています。 ・埋蔵文化財については、開発事業等により遺跡が保存できない場合、記録保存による発掘調査の実施に努め、その成果については、積極的に公開を図っていく必要があります。 ・出土した文化財を適切に保管し、評価を行い、展示等の積極的な活用を図っています。 ・適切な文化財の保存と管理を進めるためには、所有者及び管理者との連携が急務です。	B		1. 泉佐野市には日本遺産に指定された、「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」をはじめとした、多くの歴史・文化遺産が点在している。このため、インバウンド客を含む、滞在者や来訪者の受入体制強化を図ること。 2. 1. を実現するために、駐車場や公衆トイレなどの公共施設の整備に加え、飲食店や土産物販売店が出店できるように周辺の環境整備をすること。	これら2施策を構成する3事業のR2当初予算額とR1当初予算額を比べると、31,247千円(169.0%)の増加となっている。 これは、2施策を構成する史跡等保存事業で28,453千円の増、庁舎管理(文化財保護課分室)事業で6,232千円の増、文化財保存事業で3,438千円の減となったためである。 ※増減理由は各事務事業に記載。	49,735	18,488	31,247	14,429
②文化的景観の保護推進	文化財保護課	・良好な景観が誇りとなり、地域の活性化へとつながるよう、保護、活用に努めるとともに、市民と行政が協働して、良好な歴史・文化	B	拡充						

環境の保全に努め、文化的景観の保護を進めます。

(現況と課題)

・国宝慈眼院多宝塔・重文金堂など数多くの指定・登録文化財建造物や全国的に数少ない荘園遺跡である国史跡日根荘遺跡が存在し、地域の歴史・文化的景観の形成に寄与しています。

・国史跡日根荘遺跡は16か所に点在しているため、市民が活用しやすいための整備が十分に進められていない状況です。

・国史跡日根荘遺跡とそれに関連する地域の良好な景観を日根荘の文化的景観として、その保護を市民や関係者等と共に検討を進めています。

・文化財建造物等の所有者や国史跡の関係者のみの保護ではなく、地域や市が一体となって保護や活用に取り組む枠組みづくりが求められています。

・多彩な歴史・文化的景観を地域の活性化へつなげる手法の検討が求められています。

＜本施策を構成する事務事業評価＞

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
1	史跡等保存事業	文化財保護課	<p>史跡等保存事業として以下の業務を実施している。</p> <p>①国史跡日根荘遺跡の適切な保存と管理を行うための行政指導業務</p> <p>②大規模開発等の事業者(部局)との文化財保存との共存を図る協議等</p> <p>③国史跡日根荘遺跡と文化的景観にかかる調査・普及(暫定活用含)等事業</p> <p>④国重要文化的景観日根荘大木の農村景観の保存活用にかかる業務</p> <p>⑤指定地の所有者に対して有効な保存と管理についての行政指導</p> <p>⑥文化的景観と関連する景観法に基づく景観計画策定及び条例規則にかかる業務</p>	A	—	<p>○日本遺産と連携した取り組みをお願いします。</p> <p>インバウンド向けの情報発信・魅力発見・日本文化の海外紹介など、新たな魅力創出・宣伝をお願いいたします。</p> <p>○適切な人員配置と予算を組んでいただきたい。</p> <p>○過去にあべのハルカスで日根荘のフォーラムが開催され、その時改めて歴史的な価値を再認識した。その後も切れ目なくPRすることにより、国の重要文化的景観に指定され、今回の日本遺産に繋がったものと感じる。堺市の古墳群と同様、どの様に見せるかがポイントであると考えます。</p> <p>○遺跡研究については引き続き専門機関との連携を図ってください。</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、28,453千円(735.4%)の増となっている。</p> <p>これは、日本遺産日根荘推進協議会補助で27,448千円皆増、北前船日本遺産推進協議会負担金で500千円の皆増、日本遺産構成文化財周辺整備により浄化槽管理委託で404千円の皆増となったためである。</p>	32,322	3,869	28,453	3,419

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
2	庁舎管理 (文化財保護課分室) 事業	文化財保護 課	教育総務課分室(S造2階、延べ床面積592.15㎡、平成9年1月竣工、平成14年10月に大阪府から譲渡)と土丸収蔵庫施設の維持管理及び記録資料(図面や写真等)の適切な保管収蔵管理業務。	B	—	<p>○課題認識でも、体制が不十分と有りますので、今回の日本遺産の体制と合わせて強化出来るようなら、強化をお願いします。</p> <p>日本遺産の宣伝・情報発信を通じて文化財への認知・関心が高まる努力をお願いいたします。</p> <p>埋蔵文化財だけの管理から、その他の文化財や旅引付などと合わせて管理出来るようにお願いいたします。</p> <p>○適切な人員配置と予算を組んでいただきたい。</p> <p>○国の補助事業と一体としての事業であるのでその役割を果たしていただきたい。</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、6,232千円(396.9%)の増となっている。</p> <p>これは庁舎移転に伴い、ネットワーク敷設・電話設置・GISシステム移設の委託で2,802千円皆増、机等の初度備品で2,000千円皆増、機械警備委託で466千円の増、プリンター等消耗品で463千円の増、コピー機借上料で322千円皆増となったためである。</p>	7,802	1,570	6,232	1,696

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
3	文化財保存事業	文化財保護課	文化財保存事業として以下の業務を行っている。 ①市内にある文化財保存のための調査・指定業務 ②市文化財保護審議会運営業務 ③国・府・市指定文化財の所有者に対し、維持管理(一部)及び保存修理等への補助金交付業務	B	—	<p>○文化遺産については、維持していくのが大変な部分が多いですので、いかに財源確保するかを検討が必要だと感じました。補助金や助成金頼みだと維持は厳しいと思います。</p> <p>日本遺産と重なる物は、国庫補助金などをうまく活用して進めてください。その他の物もうまく合わせて管理出来るようにお願いいたします。</p> <p>○適切な人員配置と予算を組んでいただきたい。</p> <p>○昨年の台風21号によって文化財にも被害が生じ、工事専門業者の手当て等も付かず、未だ修復出来ていないと仄聞する。引き続き補助出来るものは補助しながら保存をお願いしたい。</p> <p>○文化財の活用範囲に思い切りが必要だと思う。</p> <p>コミュニティ施設のような運営にとどまらず、経営的な施設として活用できる方法も考え、買い物や体験、飲食など別の目的で来訪した人が、歴史の風情を感じられる活用方法が良いのではと考える。</p> <p>○埋蔵文化財なども普及と啓発を進めてほしい。</p> <p>○文化財の保存と同時に積極的な活用に向けて事業を行なっていただきたいと思います。</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、3,438千円(26.3%)の減となっている。</p> <p>これは歴史文化交流業務委託で2,297千円皆減、文化財保存活用地域計画策定業務で788千円の減、文化財調査員賃金で333千円皆減となったためである。</p>	9,611	13,049	△ 3,438	9,314
合 計								49,735	18,488	31,247	14,429

令和元年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-4

- 市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
- 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
- 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
- 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

< 施策評価 >

(千円)

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
歴史・文化の保存継承と情報発信	文化財保護課	<p>・歴史館いずみさののより一層の活用を図ることにより、市民が地域の歴史や文化に誇りと愛着を持てるよう市内外にその魅力を発信します。</p> <p>・日根荘や佐野町場などの魅力的な歴史的資源を市民と共に積極的に保存、活用し、魅力ある街づくりに役立てます。</p> <p>・歴史資料や郷土資料などの保存とともに、公開を進めます。</p> <p>(現況と課題)</p> <p>・日根荘を中心とした中世荘園のテーマ館としての歴史館いずみさのの機能を充実させるとともに、泉州地域を中心とした歴史や文化についての各種資料の収集、保存及び活用に努める必要があります。更に、市民の歴史や文化についての学習ニーズに応える必要があります。</p> <p>・市内には、数多くの歴史的資源が存在しており、その資源を活用し、市民と協働して魅力あるまちづくりに役立てる必要があります。</p> <p>・小学校、中学校の歴史教育</p>	B	現状維持	<p>1. SNSの活用による幅広い世代に向けた広報の強化を図ること。</p> <p>2. 各歴史・文化遺産などの施設に多言語標記の案内を設置すること。</p> <p>3. 多言語による分かりやすい案内パンフレットのさらなる充実を図ること。</p> <p>4. 教育委員会と連携して、子どもたちに泉佐野市の歴史・文化遺産の魅力を継承できるようにすること。</p>	<p>この施策を構成する2事業のR2当初予算額とR1当初予算額を比べると、496千円(1.9%)の増加となっている。これは、施策を構成する文化財施設管理事業で177千円の増、歴史館管理運営事業で319千円の増となったためである。</p> <p>※増減理由は各事務事業に記載。</p>	27,243	26,747	496	26,193

		地域教育について、児童及び生徒がより具体的な教材を活用して学習を進めることができるよう、より効果的な各種の資料を提供し、学校教育との連携を図る必要があります。								
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--

＜本施策を構成する事務事業評価＞

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
1	文化財施設 管理事業	文化財保護 課	<p>①旧新川家住宅(木造2階 建、内蔵、外蔵など、延べ床 面積506.21㎡、修理復元価格 336,274千円) の維持管理及 び運営。平成18年度より指定 管理者制度による運営管理 へ移行。現在の指定管理者 は特定非営利活動法人泉州 佐野にぎわい本舗で、指定期 間は令和2年3月31日まで。</p> <p>②泉佐野市指定文化財旧向 井家住宅の公開管理(かや ぶき保存会に管理委託)</p> <p>③重要文化財奥家住宅の管 理(奥家保存会に管理委託)</p>	B	—	<p>○新川家の管理に関しては、年々利用者 が増えていきますので、いろいろなイベント での利用と、町屋利用の促進に寄与して いただければ良いと思います。</p> <p>維持管理の財源確保のモデルケースに 成りますように頑張ってください。</p> <p>○適切な人員配置と予算を付けていただ きたい。</p> <p>○新川家住宅は旧市街地に位置し、町屋 との連携を図り来館者も安定しているが、 向井家と奥家住宅は場所的に離れている ため来館者も減少傾向にあるのではない だろうか。特に奥家は駐車場の問題があ る。</p> <p>○入場者数の伸びなど評価する。 向井家は、市内でも珍しくなったかやぶき 屋根を、宣伝すればいいと思う。</p> <p>○イベントなど(例えば、町場散策スタン プラリー)を開催するなどをし、より市民に 浸透するように努めてください。</p> <p>国から指定されている重要文化財の「奥 家」の早期の修復を期待します。</p> <p>○歴史文化施設をさらに積極的に活用し ていただきたいです。</p> <p>旧新川家住宅は泉佐野駅海側における まちづくりの拠点としての機能をさらに高 めてもらいたいと思います。</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算 額を比べると、177千円 (5.0%)の増となっている。</p> <p>これはエアコン修繕で庁用器 具費が403千円の減となった 一方、令和2年4月からの新た な指定管理期間となる旧新川 家住宅の指定管理委託で326 千円の増、大將軍湯の保存 委託で192千円皆増、施設修 繕料で79千円皆増となったた めである。</p>	3,711	3,534	177	3,193

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	R2年度 当初予算額	R1年度 当初予算額	増減額 (R2-R1)	備考 (H30年度 決算額)
2	歴史館管理 運営事業	文化財保護 課	歴史館いずみさのの管理運営。平成27年度より指定管理者制度による管理運営へ移行。 現在の指定管理者は、公益財団法人大阪府文化財センターで、令和3年3月31日まで。	B	—	<p>○指定管理に成りましたので、民間のアイデア等で利用者促進をお願いします。日本遺産認定を良い機会にいただき、宣伝や情報発信・SNS活用・インスタ映えなどいろいろな方法を検討しながら推進をお願いします。</p> <p>○歴史館いずみさの管理運営について、ヒアリングでは周辺自治体施設との連携もあるとのこと、今以上に情報発信をして頂きたい。</p> <p>○適切な人員配置と予算を付けていただきたい。</p> <p>○現在の指定管理者である大阪府文化財センターは他市でも同様の施設の運営を行っているとのことで、相乗効果が出ているものと考えられる。</p> <p>以前行っていたような本市にゆかりのある歴史上の人物に光を当て、展覧会なども積極的に実施して行ってもらいたい。</p> <p>○例年、コスモス園の人気の高いのに驚いている。</p> <p>一方、荘園や城跡などは現地でも何も見られず「何もない」という声をよく聞いている。そういったコスモス園のような、何か別のものとコラボレーションして人を呼ぶ方法がないか、研究されたい。</p> <p>○地域の歴史や日根荘を伝える施設として、歴史の探求や伝え方の向上を図っていただきたいと思います。</p>	<p>R2当初予算額とR1当初予算額を比べると、319千円(1.4%)の増となっている。</p> <p>これは消費増税により歴史館指定管理委託で213千円の増、令和3年度からの指定管理者選定のため委員謝金・費用弁償で106千円皆増となったためである。</p>	23,532	23,213	319	23,000
合 計								27,243	26,747	496	26,193